

企画展

生誕 100 周年記念 中原淳一展

暮らしを愉しく、美しく

平成 26 年 5 月 17 日(土)～7 月 18 日(金)

1 展覧会名

生誕 100 周年記念 中原淳一展 暮らしを愉しく、美しく

2 (1) 主催 茨城県近代美術館／朝日新聞社

(2) 監修・協力 ひまわりや

(3) 後援 茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局（予定）

(4) 協賛 サンエムカラー

3 会期 平成 26 年 5 月 17 日(土)～7 月 18 日(金)

4 休館日

月曜日

5 開館時間

午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

6 入場料 ※()内は 20 名以上の団体料金になります。

(1) 一般 980 (850)円

(2) 高大生 720 (600)円

(3) 小中生 360 (240)円

※土曜日は高校生以下入場無料

※満 70 歳以上の方及び身体障害者手帳等をご持参の方は無料

※茨城県立の美術館(近代美術館, 天心記念五浦美術館, 陶芸美術館)主催のすべての展覧会
会で何回でもご利用いただける共通年間パスポート(一般 3,090 円／高大生 2,060 円／小
中生 1,030 円, 購入日より 1 年間有効)を各美術館で販売中

7 展覧会概要

戦前から戦後にかけて、多くの人がおしゃれとは無縁の生活を強いられた時代に、自宅で作れるかわいい洋服や、自分で結える髪型などを雑誌で提案し、瞬く間に少女たちの人気を博した人物がいました。それが雑誌の編集者、イラストレーター、ファッションデザイナーなどとして活躍した中原淳一(1913-1983)です。

中原は、戦前は雑誌『少女の友』挿絵や表紙画を描き、戦後は雑誌『それいゆ』『ひまわり』『ジュニアそれいゆ』を創刊。ものを大切に、生活の中で様々な工夫をすることから美しい暮らしが生まれることを説き、誰もが実践できる楽しいアイデアを提案しま

した。少女時代を大切にすごし、内面から美しくあってほしいという思いにあふれたアイデアの数々は、中原の雑誌を当時読んでいた人にとって懐かしいだけでなく、節約を楽しみながらシンプルに暮らすことが見直されつつある今の日本の新しいライフスタイルにも通じています。

生誕100年を記念する本展は、各雑誌の表紙原画やスタイル画等を、ファッション、インテリアなどテーマ別に紹介する大回顧展となります。また三畳間に再現した中原提案の「少女の部屋」や、ファッションデザイナー丸山敬太が中原の絵をもとに製作したドレスも展示し、どんな状況でも「美しく生きること」の大切さを人々に伝えようとした中原淳一の軌跡を浮き彫りにします。

【広報文】

戦前から戦後にかけて、雑誌の編集者、ファッションデザイナーとして少女たちの人気を博した中原淳一。その生誕100周年を記念する本展では、雑誌の挿絵や表紙絵の原画、人形、雑誌・付録等348件を展示し、中原の足跡を紹介します。（106字）

戦前から戦後にかけて抒情的な少女像や清楚で理知的な女性を描き、雑誌の編集者、ファッションデザイナーなどとして少女たちの人気を博した中原淳一。「美しく生きる」ことを提唱し、外見だけでなく内面を磨くことを追究した誰もが実践できるアイデアの数々は、現代のライフスタイルにも通じます。本展では、雑誌の挿絵や表紙絵の原画、人形、雑誌・付録等348件を一堂に展示し、中原淳一の足跡と魅力を紹介します。（193字）

戦前から戦後にかけて抒情的な少女像や清楚で理知的な女性を描き、雑誌の編集者、ファッションデザイナーとして少女たちの人気を博した中原淳一。「美しく生きる」ことを提唱して外見だけでなく内面を磨くことを追究し、雑誌『少女の友』や、自ら創刊した『ひまわり』『それいゆ』等を通じて誰もが実践できるアイデアを提案し、多くの女性に夢を与え続けました。こうした中原の美学は、現代のライフスタイルにも通じています。本展では、雑誌の挿絵や表紙絵の原画、人形、雑誌・付録等348件を一堂に展示し、中原淳一の足跡と魅力を紹介します。（253字）

8 展示構成

第1章：中原淳一の原点

デビューから戦前の活躍までの仕事を紹介

第2章：「あなたらしくあること」ーファッションデザイナーとして

雑誌『それいゆ』などの原画を中心にファッションデザインを紹介

第3章：「生活を美しくする」ーライフスタイルの提案

雑誌『ひまわり』の原画を中心に服装や髪型、インテリアの工夫を紹介

第4章：多彩な才能

書籍刊行、プロデューサーとして若い才能の発掘、人形制作などを紹介

9 主な出品作品 出品予定総数 348 件 741 点

内訳

(1)原画（挿絵・表紙絵）259件425点

(2)自筆画集・画帳6件6点

(3)雑誌等印刷物77件304点

(4)人形6件6点

(5)主な出品作品

①裏表紙原画（『きものノ絵本』）（部分）1940年

②扉絵原画（『きものノ絵本』）1940年

③シンデレラ姫（『ひまわり』第1巻第1号原画）1947年

④ひまわり夏休み手帖（『ひまわり』第4巻第8号付録表紙原画）1950年

⑤青い鳥（『ジュニアそれいゆ』第3号原画）1955年

⑥表紙原画（『それいゆ』第37号 春号）1956年

10 展覧会の見どころ

- (1)平成25年2月から全国を巡回している生誕100周年記念中原淳一展では、初公開となる雑誌『ひまわり』の表紙原画3点をはじめ、表紙絵や挿絵原画、スタイル画、雑誌付録など348件が一堂に会します。
- (2)学生時代の中原は個展を開くほど創作人形に没頭しており、その個展が編集者の目にとまり誌面に紹介されたことで挿絵の仕事を始めました。本展では19歳の中原が世に出る契機となった創作人形1点を展示します。
- (3)中原が、初めて雑誌の全ページに責任をもって編集をした雑誌『ソレイユ』（のちに『それいゆ』と改称）54点（全63点中）を展示します。中原の美学が詰まった作品ともいうべき雑誌です。
- (4)雑誌上で中原が提案した少女の三畳の部屋を再現したコーナーや、ファッションデザイナー丸山敬太が中原の絵をもとに製作したドレスなどを特別出品します。
- (5)洋服、小物、髪型などを自分で選び組み合わせることで楽しく美しく装うことを提案し、女性たちに圧倒的な支持を得たスタイルブックから、多数の原画を展示します。戦前から戦後の時代をリードしてきた中原のデザインは、現代の目から見ても色あせることなく、輝きを放っています。

11 中原淳一（1913-1983）略歴

大正2年香川県に生まれる。母親が米国人女性宣教師の家で働いていたことで、当時としては珍しく欧米文化にかこまれて成長した。幼い頃から絵や工作が得意で、一時は絵画を志すが、弱冠19歳で自作のフランス人形展を開催して注目を集め、それを契機に雑誌『少女の友』の挿絵や表紙絵を担当、抒情的な少女像で一世を風靡した。戦後は雑誌『それいゆ』『ひまわり』『ジュニアそれいゆ』を創刊。理知的で清楚な女性像を描き、さらにファッション、インテリアやライフスタイルにまで及ぶ多くの提案を行い、女性たちに夢を与え続けた。しかし、昭和30年代半ば病にたおれ、長い療養生活の後、昭和58年に70歳でこの世を去った。

12 イベント

【関連イベント】

(1) オープニングイベント

日時：5月17日（土）9:10～

会場：企画展示室入口

内容：展覧会開幕を記念し、一般来場者参加のテープカットを行います。

定員：抽選で50名様ご招待（展覧会招待券進呈）。往復はがき、または来館による申込制（オープニングイベント参加希望と明記、住所、氏名、電話番号を明記、5月7日（水）必着）。当選者の中から2名様にテープカットへ参加していただきます。（図録進呈）

(2) 学芸員によるギャラリートーク

日時：5月31日（土）14:00～

会場：2階企画展示室（要企画展チケット、申込・定員は無し）

概要：展示室で作品を鑑賞しながら、作品の魅力についてお話しします。

(3) 学芸員による美術講座「生誕100周年記念 中原淳一展にちなんで」

日時：6月8日（日）14:00～

会場：地階講堂（定員250名、参加無料）

(4) ちびっこと家族のためのギャラリートーク

日時：6月18日（水）10:30～（30分程度）

会場：2階企画展示室（要企画展チケット）

定員：未就学児とその保護者5組 電話またはFAXにて事前申込（先着順）

概要：ボランティアスタッフが、会場内でお子さんと一緒に鑑賞するためのお手伝いをします。お子様が小さい方、安心してご参加ください。

(5) 美術講演会「今につながる中原淳一のメッセージ」

日時：6月22日（日） 14:00～15:00

会場：地階講堂（定員250名、入場無料）

講師：中原利加子氏（ひまわりや代表・本展監修・協力者）

概要：本展の監修・協力者である「ひまわりや」代表の中原利加子さんが、中原作品の魅力について語ります。

(6) ギャラリートーク&思い出の品を語る午後

日時：6月28日（土）14:00～16:30

会場：2階企画展示室（要企画展チケット）

レストラン・プティポワル（喫茶代1,500円）

定員：20名 電話またはFAXにて事前申込（先着順）

概要：展覧会鑑賞の後、お茶会を開催。思い出の品（洋服・小物など）や写真を持参していただき、その品や思い出について語り合います。着用しての参加も大歓迎です。

(7) 「中原淳一スピリットでおしゃれ講座」

講師：Saorick（布小物作家）

日時：7月12日（土）、13日（日）（1日でも2日間でも参加できます）

会場：地階講座室他（要企画展チケット）

定員：各日とも15名。往復はがきによる申込制。（おしゃれ講座参加希望と明記、住所、氏名、電話番号を明記、7月4日（金）必着。※小学生以下は保護者同伴）応募多数の場合は抽選。

概要：使用しなくなった洋服や小物を持ち寄り、様々なリメイクをします。お一人でも、お友達とでも大歓迎です。中原淳一のアイデアを参考に、おしゃれを楽しみましょう。